

平成24年静岡県の人口動態統計（概数）の概況

目 次

	頁
人口動態調査の概要	1
静岡県における結果の概要	2
1 出 生	
(1) 出生数・出生率	5
(2) 合計特殊出生率	5
2 死 亡	
(1) 死亡数・死亡率	6
(2) 死 因	7
3 死産	10
4 婚姻・離婚	
(1) 婚 姻	11
(2) 離 婚	12
統 計 表	
表 1 実数・率の年次推移	
表 2 2次保健医療圏・保健所・市町別 実数	
表 3 2次保健医療圏・保健所・市町別 率	
表 4 死亡数、性・年齢（5歳階級）・死因简单分類別	
表 5 乳児死亡数・新生児死亡数、性・死因（乳児死因简单分類）別	
付 表	
率算出に用いた人口	
参 考	
本資料を含む主要な統計資料は、静岡県ホームページ（統計センター しずおか）に掲載しています。 静岡県ホームページ（URL） http://www.pref.shizuoka.jp/	

人口動態調査の概要

1 調査概要

- (1) 調査の目的 我が国の人口動態5事象（出生、死亡、婚姻、離婚及び死産）を把握し、人口及び各種施策の基礎資料とする。
- (2) 調査の対象 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届けられた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では、平成24年において発生した日本人の事象を客体とした。
- (3) 調査の期間 平成24年1月1日～平成24年12月31日
- (4) 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- (5) 報告の系統 市区町村—保健所————都道府県—厚生労働省
└──保健所を
設置する市・特別区──┘
- (6) 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

2 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微少（0.05, 0.00005未満）の場合	0.0, 0.0000
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(2) 用語の説明

自然増加	： 出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	： 生後1年未満の死亡
新生児死亡	： 生後4週未満の死亡
早期新生児死亡	： 生後1週未満の死亡
死産	： 妊娠満12週以後の死児の出産
周産期死亡	： 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
合計特殊出生率 (期間合計特殊出生率)	： その年次の、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)

- (3) この概況で使用した数値は、平成23年以前は確定数である。
- (4) 昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は資料不備であるため省略した。
- (5) 都道府県・市区町別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

静岡県における結果の概要

1 出生数は減少

出生数は30,810人で、前年の31,172人より362人減少し、出生率（人口千対）は8.4で、前年と同率だった。

また、合計特殊出生率は1.52で前年の1.49を上回った。

2 死亡数は増加

死亡数は38,193人で、前年の37,303人より890人増加し、死亡率（人口千対）は10.4で、前年の10.1を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物（死亡数10,267人、死亡率（人口10万対）278.8）、第2位が心疾患（5,693人、154.6）、第3位が脳血管疾患（4,251人、115.4）となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は Δ 7,383人で、前年より1,252人減少し、自然増加率（人口千対）は Δ 2.0で、前年の Δ 1.7を下回った。

4 乳児死亡数、新生児死亡数は減少

乳児死亡数は58人で、前年より12人減少し、乳児死亡率（出生千対）は1.9で、前年の2.2を下回った。

また、新生児死亡数は28人で、前年より2人減少し、新生児死亡率（出生千対）は0.9で、前年の1.0を下回った。

5 死産数は減少

死産数は647胎で、前年より72胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は20.6で、前年の22.5を下回った。

6 婚姻件数は増加

婚姻件数は19,321組で、前年より228組増加し、婚姻率（人口千対）は5.2で、前年の5.2と同率だった。

7 離婚件数は増加

離婚件数は6,878組で、前年より74組増加し、離婚率（人口千対）は1.87で、前年の1.84を上回った。

表1 人口動態総覧

	静岡県							全国			
	実数		率		全国順位		平均発生間隔	実数		率	
	24年 (概数)	23年 (確定数)	24年 (概数值)	23年 (確定値)	24年	23年	24年	24年 (概数)	23年 (確定数)	24年 (概数值)	23年 (確定値)
出生	30,810	31,172	8.4	8.4	12	17	17分06秒	1,037,101	1,050,806	8.2	8.3
男	15,865	15,932	8.7	8.8	…	…	33分13秒	531,719	538,271	8.7	8.8
女	14,945	15,240	8.0	8.1	…	…	35分16秒	505,382	512,535	7.8	7.9
死亡	38,193	37,303	10.4	10.1	32	35	13分48秒	1,256,254	1,253,066	10.0	9.9
男	19,940	19,581	11.0	10.8	…	…	26分26秒	655,468	656,540	10.7	10.7
女	18,253	17,722	9.8	9.5	…	…	28分52秒	600,786	596,526	9.3	9.2
乳児死亡	58	70	1.9	2.2	37	26	151時間26分54秒	2,298	2,463	2.2	2.3
新生児死亡	28	30	0.9	1.0	31	30	313時間42分51秒	1,064	1,147	1.0	1.1
自然増加	△ 7,383	△ 6,131	△ 2.0	△ 1.7	13	13	………	△ 219,153	△ 202,260	△ 1.7	△ 1.6
死産	647	719	20.6	22.5	43	34	13時間34分35秒	24,804	25,751	23.4	23.9
自然死産	316	373	10.0	11.7	36	17	27時間47分51秒	11,444	11,940	10.8	11.1
人工死産	331	346	10.5	10.8	41	40	26時間32分16秒	13,360	13,811	12.6	12.8
周産期死亡	104	132	3.4	4.2	39	29	84時間27分42秒	4,134	4,315	4.0	4.1
妊娠満22週 以後の死産	86	109	2.8	3.5	…	…	102時間8分22秒	3,345	3,491	3.2	3.3
早期新生児 死亡	18	23	0.6	0.7	…	…	488時間0分00秒	789	824	0.8	0.8
婚姻	19,321	19,093	5.2	5.2	10	10	27分17秒	668,788	661,895	5.3	5.2
離婚	6,878	6,804	1.87	1.84	14	17	1時間16分38秒	235,394	235,719	1.87	1.87
合計特殊出生率			1.52	1.49	15	17				1.41	1.39

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。

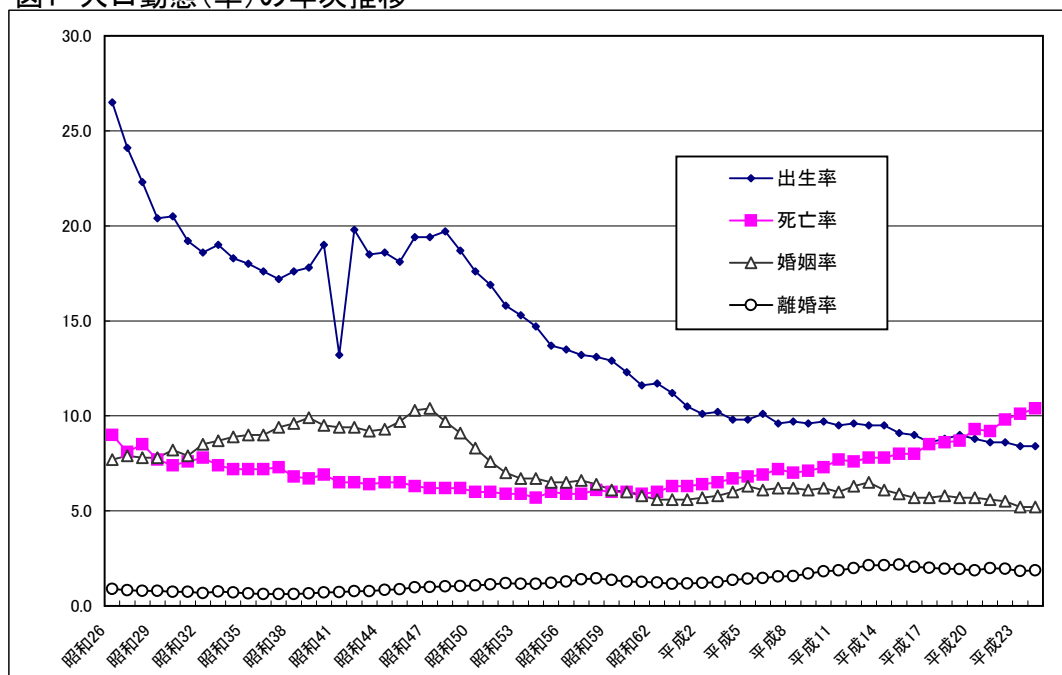
3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の平成24年10月1日現在推計人口である。

(静岡県… 3,683,000人、 全国… 125,957,000人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
55	47,160	13.7	20,550	6.0	305	6.5	184	3.9	2,039	41.4	22,460	6.5	4,202	1.22
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
平成元年	38,075	10.5	22,769	6.3	144	3.8	73	1.9	1,503	38.0	20,435	5.6	4,302	1.18
2	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
3	37,385	10.2	23,850	6.5	175	4.7	103	2.8	1,334	34.5	21,356	5.8	4,571	1.25
4	35,973	9.8	24,619	6.7	164	4.6	80	2.2	1,321	35.4	22,000	6.0	5,017	1.36
5	36,098	9.8	25,089	6.8	153	4.2	73	2.0	1,191	31.9	23,144	6.3	5,292	1.44
6	37,462	10.1	25,503	6.9	151	4.0	86	2.3	1,196	30.9	22,724	6.1	5,426	1.47
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
8	36,081	9.7	26,089	7.0	118	3.3	60	1.7	1,074	28.9	23,117	6.2	5,795	1.56
9	35,606	9.6	26,343	7.1	116	3.3	65	1.8	1,026	28.0	22,513	6.1	6,298	1.70
10	35,921	9.7	27,178	7.3	107	3.0	57	1.6	1,017	27.5	23,134	6.2	6,780	1.82
11	35,395	9.5	28,753	7.7	111	3.1	62	1.8	1,080	29.6	22,429	6.0	6,976	1.87
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
13	35,193	9.5	28,914	7.8	86	2.4	42	1.2	1,044	28.8	24,019	6.5	7,967	2.14
14	35,212	9.5	28,894	7.8	94	2.7	57	1.6	1,067	29.4	22,635	6.1	7,985	2.14
15	34,061	9.1	29,813	8.0	109	3.2	68	2.0	1,038	29.6	21,817	5.9	8,087	2.17
16	33,628	9.0	29,809	8.0	83	2.5	46	1.4	960	27.8	21,304	5.7	7,688	2.06
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
23	31,172	8.4	37,303	10.1	70	2.2	30	1.0	719	22.5	19,093	5.2	6,804	1.84
24	30,810	8.4	38,193	10.4	58	1.9	28	0.9	647	20.6	19,321	5.2	6,878	1.87

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

平成24年の出生数は30,810人で、前年の31,172人より362人減少した。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成15年は3万5千人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。34歳以下の各階級では前年より減少したが、35歳以上の出生数は前年より増加しており、35歳以上の母親からの出生数は、全体の24%になっている。

出生率（人口千対）は8.4で、前年の8.4と同率だった。

表3 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次推移

	出生数				対前年増減		割合	
	平成24年	23年	22年	14年	24年-23年	23年-22年	24年	14年
総数	30,810	31,172	31,896	35,212	△ 362	△ 724	100.0	100.0
～19歳	357	360	424	604	△ 3	△ 64	1.2	1.7
20～24	2,968	3,182	3,313	4,865	△ 214	△ 131	9.6	13.8
25～29	9,287	9,433	9,655	13,359	△ 146	△ 222	30.1	37.9
30～34	10,876	11,023	11,447	12,278	△ 147	△ 424	35.3	34.9
35～39	6,198	6,104	6,162	3,670	94	△ 58	20.1	10.4
40歳以上	1,124	1,070	895	436	54	175	3.6	1.2

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

平成24年の合計特殊出生率は1.52で、平成22年の1.49から上昇した。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていたが、平成15年以降は総じて上昇傾向となっている。

表4 合計特殊出生率の年次推移

	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	13年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.40
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.33

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
静岡県	1.41	1.37	1.37	1.39	1.39	1.44	1.44	1.43	1.54	1.49	1.52
全国	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41

<参考>

厚生労働省が算出する都道府県別の合計特殊出生率は、国勢調査年とそれ以外の年で算出方法が異なる。非国勢調査年は外国人を含む年齢別の女性人口を分母として算出しているが、国勢調査年は国勢調査に基づく日本人のみを分母としている。これにより、国勢調査年は分母が小さくなることから、合計特殊出生率は高めとなる傾向がある。

『H22合計特殊出生率 確定値1.54（概数値1.48）』 ※概数値は平年と同じ分母で算出。

2 死 亡

(1) 死亡数・死亡率

平成24年の死亡数は38,193人で、前年の37,303人より890人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成5年には2万5千人を、平成17年は3万人を超えた。

平成24年の死亡率（人口千対）は10.4で、前年の10.1を上回った。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を、平成20年には9.0を超え、平成23年には10.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静 岡 県		全 国	
	死 亡 数	死 亡 率	死 亡 数	死 亡 率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成元年	22,769	6.3	788,594	6.4
2	23,543	6.4	820,305	6.7
3	23,850	6.5	829,797	6.7
4	24,619	6.7	856,643	6.9
5	25,088	6.8	878,532	7.1
6	25,503	6.9	875,933	7.1
7	26,666	7.2	922,139	7.4
8	26,089	7.0	896,211	7.2
9	26,343	7.1	913,402	7.3
10	27,178	7.3	936,484	7.5
11	28,753	7.7	982,031	7.8
12	28,323	7.6	961,653	7.7
13	28,914	7.8	970,313	7.7
14	28,894	7.8	982,379	7.8
15	29,813	8.0	1,014,951	8.0
16	29,809	8.0	1,028,602	8.2
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,334	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
23	37,303	10.1	1,253,066	9.9
24	38,193	10.4	1,256,254	10.0

表6 年齢(5歳階級)別にみた、死亡数・死亡率(人口10万対)

	死 亡 数			死 亡 率		
	平成 24 年	平成 23 年	対前年増減	平成 24 年	平成 23 年	対前年増減
総 数	38,192	37,303	889	1,022.5	1,009.8	12.7
0～4歳	84	98	△ 14	53.6	61.8	△ 8.2
5～9	12	17	△ 5	7.4	10.3	△ 2.9
10～14	17	10	7	9.7	5.7	4.0
15～19	32	48	△ 16	18.2	27.8	△ 9.6
20～24	83	86	△ 3	59.3	59.1	0.2
25～29	77	91	△ 14	41.5	47.5	△ 6.0
30～34	112	104	8	52.9	47.5	5.4
35～39	179	201	△ 22	68.7	74.6	△ 5.9
40～44	269	303	△ 34	101.7	115.8	△ 14.1
45～49	386	419	△ 33	166.3	186.2	△ 19.9
50～54	579	618	△ 39	258.5	274.7	△ 16.2
55～59	928	969	△ 41	392.1	391.5	0.6
60～64	1,954	2,022	△ 68	635.2	638.7	△ 3.5
65～69	2,313	2,391	△ 78	940.1	1,008.5	△ 68.4
70～74	3,414	3,354	60	1,530.2	1,545.5	△ 15.3
75～79	4,948	4,840	108	2,680.7	2,668.7	12.0
80～84	6,883	6,746	137	4,921.6	4,949.2	△ 27.6
85～89	7,294	6,804	490	8,513.9	8,438.9	75.0
90歳以上	8,628	8,182	446	18,721.9	18,593.8	128.1

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

平成24年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物で10,267人、死亡率(人口10万対)278.8、第2位は心疾患で5,693人、死亡率154.6、第3位は脳血管疾患で4,251人、死亡率115.4となっており、この順位は平成11年以降同じである。

全死亡者に占める割合は、それぞれ26.9%、14.9%、11.1%であり死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位

死 因	静 岡 県						全 国			
	平成24年			平成23年			平成24年		平成23年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	38,193	1,037.0	100.0	37,303	1,009.8	100.0	1,256,254	997.4	1,253,066	993.1
悪性新生物	(1) 10,267	278.8	26.9	(1) 10,235	277.1	27.4	(1) 360,790	286.4	(1) 357,305	283.2
心 疾 患	(2) 5,693	154.6	14.9	(2) 5,730	155.1	15.4	(2) 198,622	157.7	(2) 194,926	154.5
脳血管疾患	(3) 4,251	115.4	11.1	(3) 4,107	111.2	11.0	(4) 121,505	96.5	(4) 123,867	98.2
肺 炎	(4) 3,188	86.6	8.3	(4) 3,112	84.2	8.3	(3) 123,818	98.3	(3) 124,749	98.9
老 衰	(5) 2,827	76.8	7.4	(5) 2,609	70.6	7.0	(5) 60,669	48.2	(6) 52,242	41.4
不慮の事故	(6) 1,317	35.8	3.4	(6) 1,302	35.2	3.5	(6) 40,857	32.4	(5) 59,416	47.1
腎 不 全	(7) 801	21.7	2.1	(8) 788	21.3	2.1	(8) 25,061	19.9	(8) 24,526	19.4
自 殺	(8) 751	20.4	2.0	(7) 832	22.5	2.2	(7) 26,400	21.0	(7) 28,896	22.9
大動脈瘤及び解離	(9) 515	14.0	1.3	(9) 507	13.7	1.4	(11) 15,799	12.5	(11) 15,599	12.4
糖 尿 病	(10) 506	13.7	1.3	(10) 498	13.5	1.3	(12) 14,452	11.5	(12) 14,664	11.6

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。

表8 性別にみた死因順位別、死亡数・死亡率(人口10万対)

(平成24年)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺 炎	不慮の事故
	死亡数	6,239	2,730	2,087	1,819	743
	死亡率	343.9	150.5	115.0	100.3	41.0
女	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老 衰	肺 炎
	死亡数	4,028	2,963	2,164	2,115	1,369
	死亡率	215.5	158.5	115.8	113.2	73.2

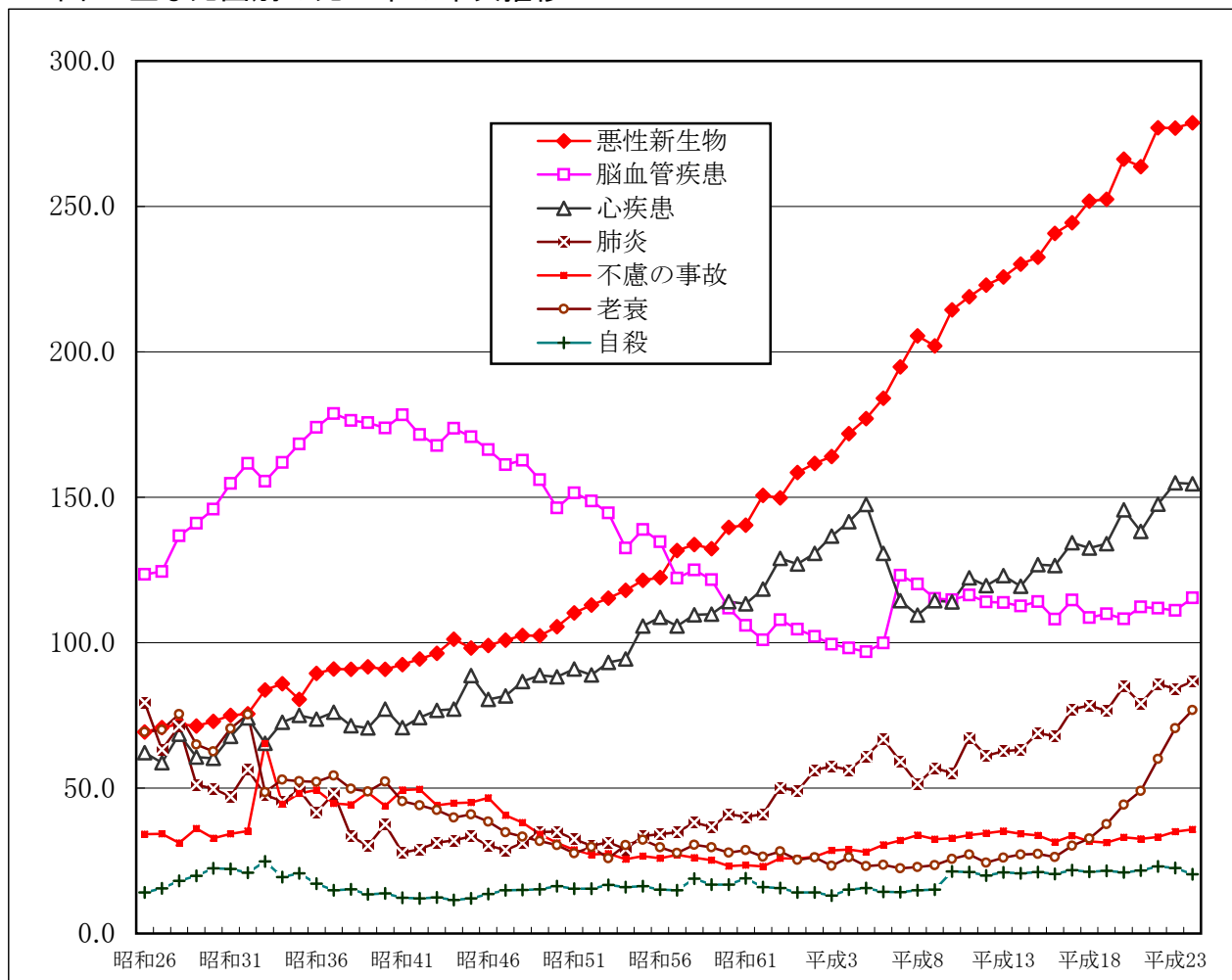
		第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
男	死 因	老 衰	自 殺	腎不全	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
	死亡数	712	526	406	389	283
	死亡率	39.3	29.0	22.4	21.4	15.6
女	死 因	不慮の事故	腎不全	糖尿病	大動脈瘤及び解離	自 殺
	死亡数	574	395	248	232	225
	死亡率	30.7	21.1	13.3	12.4	12.0

(注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死因順位の第1位となっている。

3大死因の本県の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が39位、心疾患が37位、脳血管疾患が17位となっている。

図2 主な死因別の死亡率の年次推移



(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,473人で最も多く、以下「胃」が908人、「大腸」が725人、「肝」が608人、「膵」が462人の順である。この順位は前年と変わっていない。

女は「大腸」が598人で最も多く、以下「肺」が522人、「胃」が481人、「膵」が411人、「乳房」が370人の順となっている。昨年は「大腸」が1番目(584人)、「胃」が2番目(469人)、「膵」が3番目(450人)、「肺」が4番目(442人)、「乳房」が5番目(375人)であった。

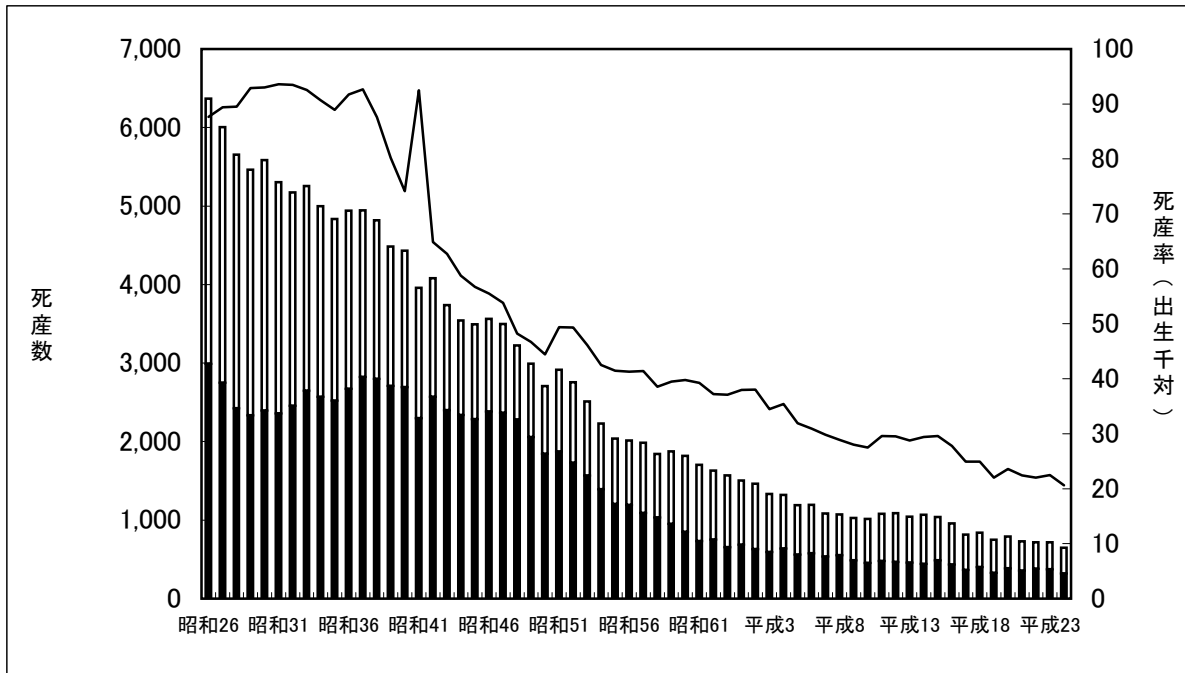
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

3 死産

平成24年の死産（妊娠満12週以後の死児の出産）数は647胎で、前年の719胎より72胎減少し、死産率（出産（出産＋死産）千対）は20.6で前年の22.5を下回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年からは昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

図3 死産数及び死産率の年次推移



4 婚姻・離婚

(1) 婚姻

平成24年の婚姻件数は19,321組で、前年の19,093組より228組増加し、婚姻率（人口千対）は5.2で、前年の5.2と同率だった。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、平成15年以降6.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫30.7歳、妻28.8歳で、前年より上昇した。

表9 婚姻の年次推移

	婚 姻			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0
50	27,541	8.3	941,628	8.5
55	22,460	6.5	774,702	6.7
60	21,501	6.0	735,850	6.1
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9
4	22,000	6.0	754,441	6.1
5	23,144	6.3	792,658	6.4
6	22,724	6.1	782,738	6.3
7	22,991	6.2	791,888	6.4
8	23,117	6.2	795,080	6.4
9	22,513	6.1	775,651	6.2
10	23,134	6.2	784,595	6.3
11	22,429	6.0	762,028	6.1
12	23,550	6.3	798,138	6.4
13	24,019	6.5	799,999	6.4
14	22,635	6.1	757,331	6.0
15	21,817	5.9	740,191	5.9
16	21,304	5.7	720,417	5.7
17	21,056	5.7	714,265	5.7
18	21,663	5.8	730,971	5.8
19	21,150	5.7	719,822	5.7
20	21,193	5.7	726,106	5.8
21	20,716	5.6	707,734	5.6
22	20,323	5.5	700,214	5.5
23	19,093	5.2	661,895	5.2
24	19,321	5.2	668,788	5.3

(注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静 岡 県			全 国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
5	28.5	26.0	2.5	28.4	26.1	2.3
10	28.7	26.6	2.1	28.6	26.7	1.9
15	29.4	27.4	2.0	29.4	27.6	1.8
16	29.6	27.6	2.0	29.6	27.8	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
18	29.9	27.9	2.0	30.0	28.2	1.8
19	30.0	28.1	1.9	30.1	28.3	1.8
20	30.0	28.1	1.9	30.2	28.5	1.7
21	30.2	28.2	2.0	30.4	28.6	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
23	30.5	28.6	1.9	30.7	29.0	1.7
24	30.7	28.8	1.9	30.8	29.2	1.6

(注) 各届出年に結婚生活に入ったもの

(2) 離 婚

平成24年の離婚件数は6,878組で、前年の6,804組より74組増加し、離婚率（人口千対）は1.87で、前年の1.84を上回った。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降徐々に減少し、平成21年に増加した後2年連続で減少したが、平成24年に再び上昇した。

表11 離婚の年次推移

	離 婚			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
5	5,292	1.44	188,297	1.52
6	5,426	1.47	195,106	1.57
7	5,723	1.55	199,016	1.60
8	5,795	1.56	206,955	1.66
9	6,298	1.70	222,635	1.78
10	6,780	1.82	243,183	1.94
11	6,975	1.87	250,529	2.00
12	7,380	1.99	264,246	2.10
13	7,967	2.14	285,911	2.27
14	7,985	2.14	289,836	2.30
15	8,087	2.17	283,854	2.25
16	7,688	2.06	270,804	2.15
17	7,474	2.01	261,917	2.08
18	7,281	1.96	257,475	2.04
19	7,208	1.94	254,832	2.02
20	6,959	1.87	251,136	1.99
21	7,352	1.98	253,353	2.01
22	7,241	1.96	251,378	1.99
23	6,804	1.84	235,719	1.87
24	6,878	1.87	235,394	1.87

(注) 離婚率は人口千対